

報道関係者各位
プレスリリース

2025年12月3日
株式会社タカミヤ

タカミヤの新型クランプ「T-Earth」、国土交通省の新技术情報提供システム
(NETIS) に登録
～安全性・環境性能・資源節約に貢献する新技术として認定～

足場をはじめとする建設業界のプラットフォームとして、業界課題に革新的なソリューションを創造しつづける株式会社タカミヤ（以下タカミヤ、大阪本社：大阪市北区、東京本社：東京都中央区、代表取締役会長兼社長：高宮一雅）が開発した新型クランプ「T-Earth」が、国土交通省の新技术情報提供システム（NETIS）に登録されました。

今回の登録は、本製品が安全性と環境面の双方に優れた新技术として認められたことを示すものです。



■ 新型クランプ「T-Earth」とは

強度・安全性・環境配慮を追求した単管クランプで、2025年10月1日より足場運用マネジメントサービス「OPE-MANE（オペマネ）」で取り扱いを開始しました。

本製品は、ボルトが突き出さない構造と、パイプを安定して保持し荷重や振動でもずれにくい業界最高水準の滑り止め性能を持ちます。また、表面処理には環境規制対象外の三価クロメートを採用し、従来一般的だった六価クロムメッキと比較して、製造工程での有害リスクを低減しています。

（参考）[タカミヤ、業界初の安全基準をクリアした新型クランプ「T-Earth」を開発](#)

■ NETIS登録のポイント

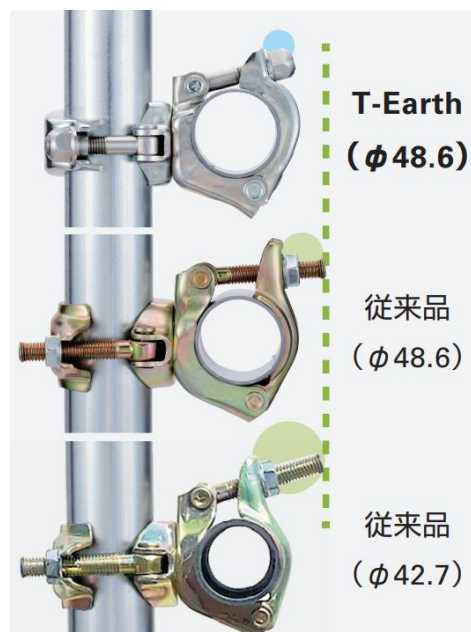
NETIS（New Technology Information System）は、国土交通省が運用する新技術データベースで、新技術の情報共有と活用促進を目的としています。公共工事などにおける発注者・施工者の技術選択に活用されています。

今回、「T-Earth」は、特に以下の2点において、有用な新技術として登録されました。

① ボルト先端が外に出ない独自構造

従来のクランプは、ボルトを締めると先端が外側へ突き出す形状のため、作業者の衣類や資材が引っかかるリスクがあり、多くの現場でプラスチック製の「クランプカバー」を取り付けていました。

「T-Earth」は、ボルトが外へ突出しない独自構造を採用。これにより、クランプカバーなしでも人と資材の接触リスクを低減し、安全性を確保します。さらに、カバーの製造・廃棄に伴う環境負荷の抑制も実現しました。



新技術・従来技術の施工比較写真

② 高張力鋼管に対する単品承認を取得

近年、施工負荷の低減を目的に、軽量で薄肉の「高張力鋼管」が普及しています。しかし、従来のクランプでは強く締めすぎると変形が起こりやすく、滑りやずれが生じる懸念がありました。

「T-Earth」は、仮設工業会の安全基準である「仮設工業会認定品」と、軽量パイプの安全基準である「仮設工業会単品承認品」を、緊結金具業界で初めて同時取得した製品です。

この承認により、軽量パイプに対しても安全に使用できることが証明され、施工者・発注者が安心して採用できる環境が整いました。

(参考)

- ・NETIS申請情報について：[こちら](#)
- ・足場運用マネジメントサービス「OPE-MANE」について：[こちら](#)
- ・新型クランプ「T-Earth」についての詳細：[こちら](#)

■今後の展望

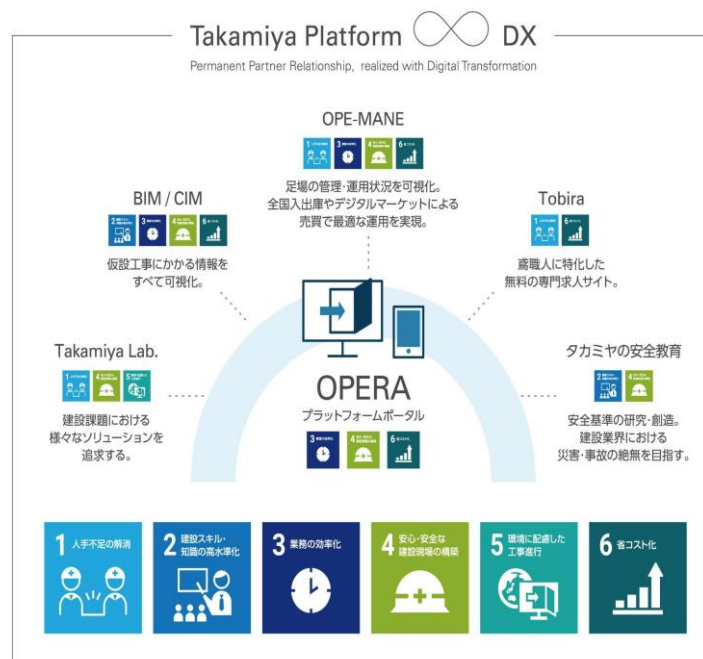
NETIS登録を機に、「T-Earth」の活用領域をさらに広げ、タカミヤプラットフォーム全体を通じて、建設現場の安全性・生産性・環境性の向上に貢献してまいります。

今後も、タカミヤは、新技術を製品・施工・運用のあらゆる側面から積極的に提言しつづけます。その普及によって業界の安全性・生産性の向上、人材不足といった構造的課題の解決し、持続可能な施工環境の実現に向けた取り組みを推進していきます。

■「T-Earth」をはじめとする建設業界の安全性向上に向けた開発は「タカミヤプラットフォーム」の一環

タカミヤは建設業の深刻な人手不足・コスト高などの問題に対応するため、建設ソリューション群「タカミヤプラットフォーム」を提供しています。足場等の仮設機材の調達・運用マーケットプレイス提供やデジタル設計支援等のデジタル化にはじまり、鳶職人に特化した無料の求人サイトまで、多岐にわたるソリューションを統合しています。

今回の「T-Earth」もその一環として、建設業界の安全性・生産性向上などに貢献します。



主なサービス内容

- 「OPERA」：建設DXの入口。仮設機材の24時間WEB注文などをはじめとしたプラットフォームポータルです。業務をデジタル化し、効率性を大幅に向上させます。
- 「OPE-MANE（オペマネ）」：建設現場の足場運用マネジメントサービスです。顧客が購入した足場機材の管理・整備を代行。足場の運用状況も確認可能です。ATMの感覚で、全国の機材Baseから足場機材を引き出して利用できます。

「Iq-Bid」：足場のリアルタイムマーケット。次世代足場「Iqシステム」という保有資産の運用状況や市場価格を確認しながら、ユーザー同士で自由に売買できます。
- 「タカミヤのBIM/CIM」：3Dレーザースキャナーで仮設工事の設計を効率化させることができます。また、3D図面を共有・更新活用することで、建築物の情報を一元管理します。
- 「Tobira」：鳶職人に特化した求人サイトです。人手不足の解消を支援し、業界全体の採用効率向上が可能です。
- 「タカミヤの安全教育」：墜落や落下時の衝撃数値の可視化など、バーチャルと実体感を融合した最先端の足場教育プログラムを提供します。

これにより、タカミヤは建設業界のコスト削減、人材不足の解消、安全性向上、業務効率化を推進し、業界全体の生産性向上に貢献します。

■ 株式会社タカミヤについて

建設現場で使われる仮設機材をはじめとする、住宅用機材、構造機材、農業用ハウス、防災用ダムなど多彩な製品について、開発・製造から、販売、レンタル、設計、施工までトータルにサービスを提供しています。

技術革新を通じて付加価値の高い製品やサービスを生み出し、地下工事から超高層建物、高速道路、橋、農業、自然災害対策分野など、さまざまな「現場」の安全性・施工性を向上させ、業界の発展に貢献しています。

社名：株式会社タカミヤ

代表：高宮 一雅

本社所在地：大阪市北区大深町 3-1 グランフロント大阪 タワーB 27階

：東京都中央区日本橋3-10-5 オンワードパークビルディング12階

URL : <https://corp.takamiya.co/>

設立 : 1969年6月21日

資本金 : 10億 5,214万円

従業員数 : 775名（連結従業員数 1,395名）

事業内容 : 仮設機材の開発、製造、販売及びレンタル、仮設工事の計画、設計、施工

【本件に関する問い合わせ先】

タカミヤ広報事務局：シェイプウィン株式会社（担当：齊木、李、江原）

03-6427-2298 press-takamiya@shapewin.co.jp